

平成26年度

教育に関する事務の管理及び執行状況の
点検及び評価報告書

中能登町教育委員会

はじめに

この報告書は「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の規定に基づき、中能登町教育委員会が平成26年度に実施した事務事業の取り組みについて自らその状況について点検し評価を行い、金沢大学地域連携推進センター浅野秀重教授からご意見をいただき、まとめたものです。

平成27年9月

中能登町教育委員会

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抄）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第二十七条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第三項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見を活用するものとする。

目次

I 事務の点検評価

1 学校教育

(1) 確かな学力を育む教育の推進	1
(2) ふるさと学習の推進	2
(3) 豊かな人間性や社会性を育む教育活動の充実	2
(4) スポーツの振興	5
(5) 安全安心な学校づくり	5
(6) 特別支援教育の充実	6
(7) 教育委員会と学校及び関連機関との連携した取組み	8
(8) 学校と家庭と地域の連携強化	10
(9) 中能登らしい学校教育の推進	10
(10) 夢プロジェクト事業	11

2 児童館及び学童保育

(1) 児童館運営	12
(2) 学童保育事業	12

3 学校教育の整備充実

(1) 統合小学校建設	14
(2) 耐震関係	15

4 文化財

(1) 文化財保護事業	16
(2) 文化財管理運営	17

5 学校給食

6 生涯学習の振興

(1) 生涯学習センター「ラピア鹿島」の充実	19
(2) 生涯学習講座の実施	20
(3) 生涯学習のつどいの実施	21
(4) 公民館活動の充実	21
(5) 青少年の健全育成	25
(6) 国際交流事業の推進	26
(7) 図書館の充実	27

7 生涯スポーツの振興	
（1）ジュニアスポーツクラブの充実	29
（2）地域スポーツの振興	30
（3）スポーツ施設の整備・充実	31
（4）指導者の養成と選手の育成	32
II 教育委員の主な活動	33
III 平成26年度決算（教育委員会）の概要	35

I 事務の点検評価

1 学校教育

項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価
(1) 確かな学力を育む教育の推進	<p>○研究指定校及び自主研究校における研究実践の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中能登中学校学力向上実践研究発表会の開催 1) 研究主題 「確かな学びと豊かな心を育み、自ら学ぶ生徒の育成～学び合いのある授業を通して～」 2) 実施日 平成 26 年 11 月 21 日 (金) 3) 場 所 中能登中学校 4) 内 容 公開授業, 全体会 (研究概要説明・講評), 記念講演会 「中学生のための夢をかなえる習慣術」 	<p>【成果】</p> <p>2 年目に入り, さらに夢プロジェクトの「三本柱への構想の実現」を推進し, 実践研究を行い, その成果等について広く普及できた。</p> <p>【今後の方向性】</p> <p>2 年続けて研究を実施しているが, 学校の学びの基礎を固める意味も込めて, 3 年目も同じテーマを進めたい。</p>
	<p>○小学校における英語活動の充実及び中学校における姉妹提携校との相互交流による英語教育の拡充</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外国語指導助手 (ALT) 2 名を配置 <p>クラリサは JET プログラム (語学指導等を行う外国青年招致事業) で, ニコルは民間業務委託</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) クラリサ (年間 240 日配置) 中能登中学校 (月, 火, 木), 越路小学校 (水), 滝尾小学校及び御祖小学校 (金曜日隔週) 2) ニコル (年間 200 日配置) 中能登中学校 (月, 水, 金), 鳥屋小学校 (火), 鹿西小学校 (木) 	<p>【成果】</p> <p>外国人指導助手を活用することにより外国語の言語や文化に親しみ, 積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成や能力の素地を養うことができた。</p> <p>【今後の方向性】</p> <p>平成 23 年度から外国語活動が小学校 5・6 年生で必修化され, 今後ますますニーズが高まることが予想されるため引き続き充実させていきたい。</p>
	<p>○学力調査の実施と活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町学力テストの効果的な実施 1) 小学校 第 1 回 9 月 12 日 2 年～6 年生 第 2 回 1 月 16 日 1 年～6 年生 2) 中学校 (七尾鹿島统一到達度調査) 第 1 回 9 月 1, 2 日 1～2 年生 第 2 回 10 月 30 日 3 年生 第 3 回 12 月 22 日 3 年生 第 4 回 2 月 5, 6 日 1～2 年生 ※3 年生は七尾鹿島で実施日程をそろえた実力テストを年 6 回実施 	<p>【成果】</p> <p>小学校学力テストでは町内平均と比べることで学力の水準を知ることができ, 学校全体の学力向上に役立った。また町内一斉で行うことで, 学級全体で頑張ろうという意識づけになり, 学力全体の底上げには効果があった。</p> <p>【今後の方向性】</p> <p>学力テストの内容をさらにバージョンアップさせ, 今後も引き続き実施していきたい。</p>

項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価
(2) ふるさと学習の推進	<p>○地域の豊かな自然や文化・歴史遺産等の良さを学ぶための教科の新設及び郷土愛高揚の促進</p> <p>①総合のカリキュラムで史跡雨の宮古墳群、石動山を見学</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鹿西小学校 5月27日 雨の宮古墳群 7月28日 石動山 ・越路小学校 5月15日 雨の宮古墳群 6月23日 石動山 ・滝尾小学校 5月7日 雨の宮古墳群 ・御祖小学校 5月14日 雨の宮古墳群 ・中能登中学校 5月1日 雨の宮古墳群(1年) 石動山(3年) <p>②「中能登町子どもふるさと検定」の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施日 平成26年12月4日 ・受験者 187名, 合格者数183名 ・合格率 (97.9%), 全問正解者数144名(77%) 	<p>【成果】</p> <p>史跡の見学やふるさと検定をとおして歴史・風土、ふるさとに愛着を持つことができた。</p> <p>【今後の方向性】</p> <p>史跡の見学やふるさと検定を実施する適切な学年を検討し、さらに理解が深まるように努める。</p>
(3) 豊かな人間性や社会性を育む教育活動の充実	<p>○児童会活動及び生徒会活動の重視</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中能登中学校2年目の取り組み～活動の可視化～ 1)生徒会玄関に設置した生徒会スローガン 2)委員会活動掲示板の設置 3)挨拶運動、たより発行、校納式、壮行式の運営 <p>各委員会の日常活動、部活動紹介、生徒総会、学級紹介、校内陸上・球技大会、募金活動、全校レクリエーション、平和集会、学校祭、校内百人一首大会</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>○心に響く学校行事や各種体験活動・ボランティア活動への積極的な取り組み</p> <p>①灯りのボランティア</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施日 平成26年8月1日 ・内 容 中能登町祭前夜祭「灯りでつなぐ能登半島 in 中能登町」のイベントボランティアに参加。5,000個のキャンドルを並べる。 <p>②届けよう服のチカラプロジェクト(ユニクロ企画)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・期 間 平成26年5月1日から 平成26年12月22日まで ・内 容 小学校、地域に呼びかけ着なくなった子ども服を回収して、難民の方々など世界中で服を本当に必要としている人々に届ける活動の実施。 	<p>【成果】</p> <p>2年目に入ると落ち着きが見られ、伝統を創っていこうとする姿勢が感じられた。</p> <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・15の委員会で活動量に偏りが見られ、精選が必要である。 ・委員会独自の企画の促進は大切であるが、委員会ごとにバランスを見ながら実施していく必要がある。 <p>【成果】</p> <p>統合2年目にあたり、旧3校が一つになり、一体感が生まれた。</p> <p>【今後の方向性】</p> <p>今後も生徒が一体となり、地域に貢献していく活動を今後も継続していく。</p>

項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">(3) 豊かな人間性や社会性を育む教育活動の充実</p>	<p>○道徳教育の充実</p> <p>①いしかわ学びの指針 12 か条推進校指定事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鹿西小学校研究発表会 <ul style="list-style-type: none"> 1) 研究主題 「確かな学力の創造～自分の考えをもち、高め合う子をめざして～」 2) 実施日 平成 26 年 10 月 30 日 (木) 3) 場 所 鹿西小学校 4) 内 容 公開授業, 全体会, 研究概要説明・協議, 指導助言・講評 ②いしかわ道徳教育推進事業 <ul style="list-style-type: none"> ・滝尾小学校研究発表会 <ul style="list-style-type: none"> 1) 研究主題 「豊かなかかわりを通して自己を見つめよりよく生きようとする子どもの育成～家庭や地域との連携を生かした道徳の推進～」 2) 実施日 平成 26 年 10 月 20 日 (月) 3) 場 所 滝尾小学校 4) 内 容 公開授業, 全体会, 研究概要説明, 講評, 講演会「心の成長を願って～道徳教育の充実～」 ・中能登中学校研究発表会 <ul style="list-style-type: none"> 1) 研究主題 「確かな学びと豊かな心を育み, 自ら学ぶ生徒の育成～学び合いのある授業を通して～」 2) 実施日 平成 26 年 11 月 21 日 (木) 3) 場 所 中能登中学校 4) 内 容 公開授業, 全体会, 研究概要説明, 講評, 講演会「中学生のための夢を叶える習慣術」 	<p>【成果】</p> <p>学校ごとに研究主題のテーマに迫るように研究を進め, 取組みの成果の普及の場として研究発表会や講演会を実施し, 最後に取り組みの検証を行うことにより児童・生徒の学力向上を図ることができた。</p> <p>【今後の方向性】</p> <p>いしかわ学びの指針 12 か条推進事業については, 平成 26 年に, 3 年事業の最終年にあたり引き続き実施していきたい。いしかわ道徳教育推進事業については他の学校で今年に引き続き実施していきたい。</p>

項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価
<p style="text-align: center;">(3) 豊かな人間性や社会性を育む教育活動の充実</p>	<p>○いじめ、非行、不登校へのきめ細やかな指導及び携帯電話やスマートフォン等の使用への適切な対応</p> <p>①非行被害防止講座</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インターネットに潜む危険性など情報機器への適切な対応の講演を御祖小学校、滝尾小学校、鳥屋小学校、中能登中学校で保護者・児童生徒を対象に実施 <p>②薬物乱用防止教室</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鳥屋小学校、越路小学校、滝尾小学校、御祖小学校、鹿西小学校、中能登中学校で喫煙や薬物禁止の啓発を実施 <p>③いじめの問題取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いじめ対応アドバイザー派遣事業を積極的に活用し、各学校に年間1回から4回派遣 1)鹿西小学校 8月26日、11月17日 2)御祖小学校 10月23日、2月12日 3)滝尾小学校 5月16日、1月28日 4)越路小学校 7月11日、11月25日、12月10日、3月4日 5)鳥屋小学校 8月20日、12月16日 6)中能登中学校 5月7日 ・「いじめを見逃さない学校づくり推進事業」を全ての小・中学校で実施、アンケート調査の実施やいじめ対策チームを設置 ・平成26年9月19日に中能登町いじめ問題対策連絡協議会条例及び中能登町いじめ防止基本方針を制定 <p>④非行（暴力）の防止取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「いしかわS&Pサポート制度」を活用し、積極的に警察と連携 <p>⑤不登校児童生徒への対策取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小中学校へのカウンセラー派遣事業や個別指導や別室指導を実施 <p>⑥ネットの諸問題取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・e-ネットキャラバンの推進や、ネットトラブル防止指導資料（CD）などを活用 	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・非行被害防止講座では、情報機器の使用についてお子さんを被害者にも加害者にもしない日頃の親子のコミュニケーションの大切さを学んだ。また、薬物や、喫煙の依存性や身体に及ぼす著しい影響について理解した。 ・いじめ対応アドバイザー派遣事業では、小学校高学年や中学校の生徒指導に大きな効果があり、次年度も継続して事業を実施したい。また、「いじめを見逃さない学校づくり推進事業」では、極めて有効にいじめの実態を把握することができた。 ・条例及び基本方針の制定により、中能登町におけるいじめの防止、いじめの早期発見及びいじめへの対処のための対策を総合的かつ効果的に推進できるようになった。 ・「いしかわS&Pサポート制度」を活用し、積極的に警察と連携して非行防止に努めた結果、昨年度と全く状況が変わり、生徒指導はかなり落ち着いた。 ・不登校者数は小中併せて19名を数えた。近年の傾向として、小学校の中学年から不登校児童がみられる。また、中学校の不登校が増加傾向にあることからその対策が急がれる。 ・ネットの諸問題取組については、学校での携帯等の所持は制限されているが、一定の効果が見られた。 <p>【今後の方向性】</p> <p>いじめ、非行、不登校対策については継続して事業を実施していきたい。携帯電話やスマートフォンなど情報機器等の児童生徒の利用については、町の方針を打ち出していきたい。</p>

項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価
(4) スポーツの振興	<p>○活動費の助成や大会派遣への支援体制の強化</p> <p>①中学校体育連盟が主催する大会（10割補助）、これに準ずる大会（8割補助）派遣費補助を実施</p> <p>②石川県大会は参加費等及び交通費の補助を実施</p> <p>③小学生のスポーツ活動では、石川県小学生陸上競技大会、鹿島郡小学生陸上競技大会、千里浜ちびっこ駅伝大会などの参加費等補助を実施</p>	<p>【成果】</p> <p>運動部活動地域連携再構築事業を積極的に取り入れ、町独自のコーチ派遣事業と合わせ、スポーツの振興に取り組んだ。全国大会に参加した種目は個人競技のソフトテニス女子、卓球男子、弓道女子、剣道男子及び女子、陸上男子</p> <p>【今後の方向性】</p> <p>今後も継続して実施していきたい。</p>
(5) 安全安心な学校づくり	<p>○交通安全意識の高揚と実践</p> <p>①ヘルメット助成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学入学時に新1年生全員にヘルメット購入費の全額を補助（該当生徒数182人） <p>②通学路の緊急合同点検の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校では通学路の点検や、児童に対して通学体験などを指導 <p>③見守り隊などボランティア活動の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・街頭指導、児童の登下校の見守り、校区内の夜間巡視など、各小学校PTAと連携をとり通学の恒常的な安全確保に努めた。 <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>○地震や洪水など天災発生時の避難誘導</p> <p>①教頭会での避難対策打合せ実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各学校で年度初めに計画された防災計画に基づいて、年間2回から3回程度の避難訓練を実施 <p>②実践的防災教育の実施取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中能登中学校で「実践的防災教育支援事業」実施 <ul style="list-style-type: none"> 1) 避難訓練（火災） 6月25日 2) 防災訓練（避難所開設・設営） 8月24日 3) 防災説明会 9月16日 4) 防災教育研修会（学校防災アドバイザー来校） 10月3日 	<p>【成果】</p> <p>中学校では区域に関係なく自転車通学を認めているため、従来から入学時にヘルメットを配布し、また交通安全教室を開催するなどして交通事故防止に取り組んだ。</p> <p>【今後の方向性】</p> <p>通学路を定め、横断歩道及び歩道の整備や街灯の設置などを働きかけ、今後も事業を継続していく。</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校危機管理マニュアルの作成、一斉防災訓練に参加するなどの施策を実施した。 ・災害拠点施設としての役割、災害発生時対応できる設備の認識、地域の方や防災担当との連携を深めるなど、事業をとおして大きな成果があった。 <p>【今後の方向性】</p> <p>教頭会で引き続き重要テーマとしてとらえ、それらを踏まえ各学校教職員で危機管理意識を共有するなど一層の取組を実施する。</p>

項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価
(5) 安全安心な学校づくり	<p>○火災や原発事故などへの適切な対応</p> <p>①避難訓練の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練の実施必須化に伴い、各学校において年間2回から3回程度の学校独自の訓練を実施した。 ・その他、県・町防災訓練などに積極的に参加した。 	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・継続して行うことができた。 <p>【今後の方向性】</p> <p>本町は、災害が比較的、少ないため、防災意識が低い。引き続き、工夫しながら継続していく必要がある。</p>
	<p>○防犯教室の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各小中学校において1回から2回実施した。 	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防犯教室では不審者を想定した避難訓練、危機回避方法の演習などを実施した。 <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実際に不審者等に出会ったときの身を守るよう、また未然防止できるように今後も継続して実施する。
(6) 特別支援教育の充実	<p>○未就学児及び在学児童生徒の相談などの実施</p> <p>①県教育相談 平成26年6月10日(火)</p> <p>②県就学相談 平成26年10月8日(水)</p> <p>③町就学相談 平成26年8月27日(水)</p> <p>平成26年10月31日(金)</p> <p>④就学指導委員会 平成26年12月4日(木)</p> <p>未就学児、在籍児童及び生徒</p> <p>⑤各小中学校において専門相談の実施</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就学相談を県及び町主催で合計3回実施することができ、多くの方の相談に対応することができた。 ・次年度の進級、就学について方向性を話すことができた。 <p>【今後の方向性】</p> <p>前年度より、年々相談件数が増加していることから、町主催で就学相談を実施している。県の就学相談は、未就学児を対象、町の就学相談は、在籍児童及び生徒の相談と分けることで、本年度も継続したいと考えている。</p>

項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価
(6) 特別支援教育の充実	<p>○特別支援学級の充実</p> <p>①各小中学校に支援員配置</p> <p>②特別教育コーディネーター連絡会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施日 平成 26 年 6 月 3 日 (火) ・場 所 ラピア鹿島 <p>③保育園訪問</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夏休み期間, 町内保育園を小学校教諭と訪問 	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別支援学級の整備の充実として支援員を派遣することで, 個々に応じた指導及び支援が行われた。 ・コーディネーターの先生を対象に特別支援教育コーディネーター連絡会を開催した。情報交換ができ, 共通理解が深まった。 ・小学校の夏休み期間中に, 学校と町教育委員会で町内保育園を訪問した。一緒に訪問することで, 共通認識を得ることができた。 <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育園, 小中学校の連携が必要不可欠であることを認識し, 関係部局と共同で方針を検討する。 ・学校と町教育委員会が同じ認識を持つという点で, 一緒に未就学児を訪問するのは今後も継続する予定である。また, 家庭, 保育園, 学校, 保健センター, 町教育委員会との連絡を密にし, 定期的に訪問や懇談会を実施していく必要がある。未就学児だけではなく, 27年度からは, 年中児訪問も実施予定である。

項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">(7) 教育委員会と学校及び関連機関との連携した取り組み</p>	<p>○教育委員会の学校訪問</p> <p>①前期</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鹿西小学校 (6月27日) 「道徳教育, 英語教育の教材化について」 「小人数学級について」 ・御祖小学校 (6月4日) 「統合小学校開校に向けて」 「統合で気になること」 「しておかなければならないこと」 「統合してから, やらなければならぬこと」 ・滝尾小学校 (6月13日) 「統合小学校開校に向けて」 「交流について」 「登下校の手段や安全確保について」 ・越路小学校 (6月17日) 「統合小学校に向けて」(特色ある教育活動, 児童の融合と規律・地域・保育園・中学校との連携) ・鳥屋小学校 (6月16日) 「学力向上について」 「危機管理について」 「家庭教育の向上について」 ・中能登中学校 (5月20日) 「学力向上対策」 「規範意識を持った集団づくり」 「生徒の学力向上に向けた取り組みについて」 「不登校生徒等の保護者対応」 「学力向上に向けた土曜補修について」 「部活動強化に向けたバスの使用について」 「一部生徒の規範意識の低下」 「家庭・地域の教育力の低下」 <p>②後期</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各学校の学校経営について管理職から説明を受け, 内容について討議した。 (鹿西小学校, 御祖小学校, 滝尾小学校, 越路小学校, 鳥屋小学校, 中能登中学校) 	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前期の鹿島地区小学校訪問で統合小学校開校に向けて, 教職員との共通理解が図られた。 ・中能登中学校では, 組織的に学校教育活動に取り組んでいることを認識した。 <p>【今後の方向性】</p> <p>初の試みであったが, 教職員の生の声を聞くことで, 委員会として具体的な支援を打ち出すことができる。今後も継続したいと考えている。</p>

項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価
(7) 教育委員会と学校及び関連機関との連携した取り組み	<p>○姉妹都市「紀宝町」学校管理職との交流</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施日 平成 26 年 11 月 6 日～7 日 1) 鹿西小学校, 中能登中学校学校訪問 2) 両町の学校教育について情報交換を実施 	<p>【成果】</p> <p>両町の学校教育の方針, 内容等について理解を深めた。</p> <p>【今後の方向性】</p> <p>今後は両町の先生方, 児童, 生徒との交流を更に深めていきたい。</p>
	<p>○教育委員による視察</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施日 平成 26 年 11 月 19 日 1) 視察研修 富山大学人間発達科学部付属小学校で, タブレットによる授業の視察及び富山大学人間発達科学部高橋純准教授によるタブレット導入の経緯と活用内容の説明を受けた。 	<p>【成果】</p> <p>タブレットが授業でどのように活用されているか確認できた。</p> <p>【今後の方向性】</p> <p>平成 27 年度以降のタブレット整備及び今後の活用について計画を策定していきたい。</p>
	<p>○教育委員会連合会研修参加</p> <p>①定期総会講演会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施日 平成 26 年 5 月 9 日 ・演 題 「新しい教育委員会制度と教育委員のあり方」 ・講 師 兵庫教育大学大学院 学校教育研究科 教授 日渡 円 氏 <p>②教育委員会セミナー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施日 平成 26 年 8 月 5 日 ・演 題 「今, 子どもたちは・・・ 夜回り先生からのメッセージ～」 ・講 師 水谷青少年問題研究所 所長 水谷 修 氏 <p>③研究大会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施日 平成 26 年 10 月 17 日 ・演 題 「本県教育の現状と課題」 ・講 師 石川県教育委員会 教育次長 斉田 正活 氏 	<p>【成果】</p> <p>各講演会, セミナーを通して教養を高めた。</p> <p>【今後の方向性】</p> <p>教委連の研修, セミナーについては今後とも参加し, 教育委員の研修を実施したい。</p>

項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価
<p>(8) 学校と家庭と地域の連携強化</p>	<p>○学校行事や学校生活についての情報公開，行事等の地域住民への参加呼びかけ</p> <p>①ケーブルテレビ（なかのとチャンネル）放送</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こども通信 各小中学校の取組み等，部活動紹介 ・なかのとスペシャル <p>②広報掲載</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎月発行の町広報に掲載 ・ホームページ掲載 	<p>【成果】</p> <p>学校行事や授業，部活動などについてケーブルテレビで番組枠を設けて放送した。広報，ホームページなどを利用し，保護者だけでなく地域住民への情報提供を行うことができた。</p> <p>【今後の方向性】</p> <p>工夫しながら、継続して情報発信に努める必要がある。</p>
<p>(9) 中能登らしい学校教育の推進</p>	<p>○区域外通学の弾力的運用</p> <p>①中能登町立学校通学区域規則の一部改正</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成 24 年度施行 <p>②中能登中学校への区域外就学生徒数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1 年生 8 人，2 年生 6 人，3 年生 4 人 <hr/> <p>○鹿島地区小学校の統合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鹿島地区統合小学校建設委員会の開催 <ol style="list-style-type: none"> 1) 第 15 回建設委員会（平成 26 年 5 月 13 日） 校歌（作曲）及び PTA 会則の決定，工事進捗 2) 第 16 回建設委員会（平成 26 年 9 月 18 日） 学校説明会資料の確認，工事進捗 3) 第 17 回建設委員会（平成 26 年 10 月 22 日） 建設現場視察 4) 第 18 回建設委員会（平成 27 年 3 月 18 日） 閉校記念誌確認，閉校事業及び DVD の決定 	<p>【成果】</p> <p>通学区域規則を一部改正し，区域外通学の弾力的な運用を実施した。その結果，児童生徒の希望する特徴のある学校への進学がみられた。</p> <p>【今後の方向性】</p> <p>今後は町域内外においても弾力的に運用していきたい。</p> <hr/> <p>【成果】</p> <p>校歌，PTA 会則，閉校記念誌，閉校事業，DVD の作成について決定した。</p> <p>【今後の方向性】</p> <p>平成 26 年度で当委員会は解散した。</p>

項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価
(9) 中能登らしい学校教育の推進	<p>○環境教育の充実</p> <p>①児童環境学習活動発表会参加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施日 平成 26 年 10 月 28 日 ・参加者 鳥屋小学校, 越路小学校, 滝尾小学校, 御祖小学校, 鹿西小学校 合計 180 名参加 <p>②MOA 活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・展示会 平成 26 年 10 月 16 日から 10 月 19 日 ・上位入賞者数 <ul style="list-style-type: none"> 1) 絵画の部 鹿西小学校 4 名, 滝尾小学校 1 名, 越路小学校 2 名 2) 書写の部 御祖小学校 1 名, 鹿西小学校 1 名, 越路小学校 2 名, 滝尾小学校 1 名, 鳥屋小学校 1 名 	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童環境学習発表会も 6 回目の開催となり, 児童の環境活動への取り組みが定着してきた。 ・MOA 活動では豊かな心を育む情操教育の一環として, 作品展に応募し, 上位入賞するような成果があった。 ・いきもの観察会では昆虫など本でしか知らない児童が多く, 実体験をおし自立心, 協調性, 感受性を伸ばすことができた。 <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境を学ぶ学習姿勢は, 今後も重要と考えられ, 継続して児童に環境を守ることの姿勢を学ばせたい。 ・作品に親しむだけではなく, 児童生徒が真に豊かな感受性を持つプログラムを検討する。
(10) 夢プロジェクト事業	<p>○夢プロジェクト活動事業</p> <p>①準備会議 (2 回), 実行委員会, 推進会議 (4 回) を開催し, 事業推進の為に組織や活動についての意見交換, 活動計画の提案, 下記活動事業の承認を実施</p> <p>②取り組みの重点 (3 本柱)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校 (新規): 学習, ふれあい, 運動 ・中学校: 勉強 (学力向上), 生徒会活動, 部活動 <p>③長期展望 (3 期にわたる取り組み)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第 I 期 開校を飾る (助走) ・第 II 期 一気に急上昇 (ハイジャンプ) ・第 III 期 県下に名高い中学校 (充実発展) <p>④推進組織 (専門部会)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふれあい部会, 学力向上部会, スポーツ・部活動部会, 生徒会部会, P T A 部会, 小学校部会, 中学校部会 <p>※各専門部会ごとに活動計画を立案し年間計画を立て, 夢プロジェクト構想達成のために実践活動を推進する。</p>	<p>【成果】</p> <p>鹿島小学校の統合に向けて, 小学校の取り組み 3 本柱を制定し, その達成に向けて実践活動を展開し, 成果を得ることができた。</p> <p>【今後の方向性】</p> <p>第 II 期の最終年度に向けて, 鹿島小学校の充実と, III 期に向けての方向性を確認する。</p>

2 児童館及び学童保育

項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価
(1) 児童館運営	<p>○児童館運営</p> <p>①各児童館運営の実態</p> <ul style="list-style-type: none"> ・放課後子どもプランとの連携 ・各児童館で教室の開催 ・習字教室，絵手紙教室，お菓子教室，お話し運動遊び教室，折り紙教室，グラウンドゴルフ教室 <p>②第1回石川県児童館連絡協議会全体研修会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施日 平成26年5月28日（水） ・テーマ 「児童館における健全育成とは」 ・参加者 教育文化課，児童館厚生員参加 <p>③能登地区児童館連絡協議会総会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施日 平成26年6月12日（木） ・参加者 児童館厚生員参加 <p>④第1回能登地区児童館連絡協議会研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施日 平成26年7月17日（木） ・テーマ 「簡単にできる遊びのいろいろ」 ・参加者 児童館厚生員参加 <p>⑤第2回能登地区児童館連絡協議会研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施日 平成26年10月19日（日） ・テーマ 「児童館及び子ども向け施設の視察」 ・参加者 児童館厚生員参加 	<p>【成果】</p> <p>各児童館はそれぞれ毎月色々な活動を計画し，実施している。また研修にも参加している。行事を楽しみに児童館に遊びに来る子がいる。</p> <p>【今後の方向性】</p> <p>学校の下校時間が遅くなっている。習い事や，スポーツ教室等で児童館の平日利用人数が少なくなっている。平成27年度は，学校が終わってからでも利用できるように閉館時間を変更する。今後も皆が行きたくなる児童館を目指し，資質の向上に努めていきたい。</p>
(2) 学童保育事業	<p>○放課後児童クラブ運営</p> <p>①各放課後児童クラブの実態</p> <p>②石川県放課後児童クラブ団体連絡協議会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施日 平成26年7月11日（金） ・場 所 石川県トラック会館 ・参加者 教育文化課，放課後児童クラブ指導員代表出席 	<p>【成果】</p> <p>利用対象は小学校1年生から3年生。各放課後児童クラブは，それぞれ毎月色々な活動を計画し，実施している。また研修にも参加している。</p> <p>【今後の方向性】</p> <p>平成27年4月から新制度になり，利用対象が小学校1年生から6年生となった。現在，5・6年生の利用は，ほとんどないが，4年生の利用はある。しばらくは，対象年齢が拡大されたことで，どのような運営をすればよいか検討していく必要がある。</p>

項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価
(2) 学童保育事業	③能登中部地区放課後児童クラブ指導員研修会 ・実施日 平成 26 年 11 月 26 日 (水) ・テーマ 「感染症対策」 ・講師 石川県能登中部保健福祉センター 保健師 伊藤 恭子 氏 ・場 所 ラピア鹿島 2 階 研修室 ・参加者 教育文化課, 放課後児童クラブ指導員	

3 学校教育の整備充実

項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価
(1) 統合小学校建設	<p>○事業の概要</p> <p>①名称 中能登町立鹿島小学校</p> <p>②所在地 中能登町芹川千部 95 番地</p> <p>③敷地面積 40,262 m²</p> <p>④構造</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校舎棟 鉄筋コンクリート造 2 階建 ・屋内運動場棟 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造 2 階建 ・屋外プール棟 鉄筋コンクリート造平屋建 <p>⑤延床面積</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校舎棟 7,489 m² <ul style="list-style-type: none"> 1) 普通教室 6 学年 18 クラス 2) 特別教室 ・屋内運動場棟 1,358 m² <ul style="list-style-type: none"> 1) 1 階 体育館 2) 2 階 備蓄倉庫棟 ・屋外プール棟 98 m² <ul style="list-style-type: none"> 1) 25m×9 コース (中高学年 6 コース, 低学年 3 コース) ・太陽光発電 発電量 10KW ・グラウンド <ul style="list-style-type: none"> 1) 200mトラック×6 コース 2) 直線路 80m ・駐車場 約 200 台 <p>⑥工期 平成 25 年 9 月 19 日から 平成 27 年 3 月 30 日まで</p> <p>⑦事業費 (総事業費 2,660,058 千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校舎棟工事 1,881,310 千円 ・屋内運動場改修工事 56,160 千円 ・屋外プール等工事 135,540 千円 ・屋外附帯工事 403,085 千円 ・調査・設計・監理委託費 110,388 千円 ・備品購入費・引越委託費 73,575 千円 	<p>【成果】</p> <p>「鹿島地区の 4 小学校を 1 校に統合し、教育環境・通学の利便性等を考慮して最適な場所に新校舎を建設する」という中能登町学校統合検討委員会の答申に沿った事業であり、平成 25 年度から始まった工事がほぼ完成し、平成 27 年 4 月に開校を迎えた。</p> <p>【今後の方向性】</p> <p>平成 27 年度には鳥屋小学校体育館及び校舎の改修工事、鹿西小学校体育館及び校舎の改修工事を予定している。</p>

項目	事業の名称及び実施概要					点検及び評価			
(3) 耐震関係	○小、中学校の現状						<p>【成果】 現在全 23 棟のうち、新耐震（昭和 57 年以降）と旧耐震（昭和 56 年以前）で「耐震性がある」棟数は 20 棟で、全体の約 87%である。今後活用する施設は、耐震改修等を実施し、Is 値 0.7 以上を確保することができた。</p> <p>【今後の方向性】 「耐震性がない」3 棟は、鹿島小学校への統合で無くなり、平成 27 年度には耐震性 100%となる。</p>		
	・施設棟数								
	小学校	校舎	15	2	S56 年以前				3
			5	3	耐震性 あり	耐震性 なし			
		計	20	5	12	3			
	中学校	校舎	2	2					
		屋体	1	1					
計		3	3						

4 文化財

項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価
(1) 文化財保護事業	<p>○文化財保護審議委員会の開催（4回）</p> <p>①指定文化財候補の調査研究</p> <p>②指定文化財の保存管理状況の調査</p> <p>③指定文化財の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指定文化財 116 件，管理団体 43 団体 （うち国指定 4 件，県指定 7 件，町指定 105 件） <p>④指定文化財の維持管理助成（42 件）</p>	<p>【成果】</p> <p>今年度の指定物件はないが，これまでに指定した文化財の保存管理の状況把握や指定のあり方について検討がなされた。</p> <p>【今後の方向性】</p> <p>今後も指定文化財の保存管理状況の把握に努め，当町の文化財を網羅紹介できる「中能登町の文化財」を刊行し，町所在文化財の周知を図る。</p>
	<p>○文化財古文書等整理作業</p> <p>①文化財の一括管理と把握</p> <p>②文化財資料の運搬作業</p> <p>③埋蔵文化財の遺物整理作業</p> <p>④古文書の整理作業</p>	<p>【成果】</p> <p>合併以降分散保管されていた文化財の一括管理と把握に努めることができた。</p> <p>【今後の方向性】</p> <p>今後も一括管理を進め，展示施設での公開が可能な体制を整える。</p>
	<p>○埋蔵文化財の保護</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開発事業との調整協議（10 件） ・試掘調査，立会い調査（1 件） 	<p>【成果】</p> <p>開発事業との調整が図られるようになり，大規模な開発事業に対しては，試掘調査を実施した。</p> <p>【今後の方向性】</p> <p>今後も適切な埋蔵文化財保護が図られるよう，開発事業者に協力を求めていく。</p>

項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価
(1) 文化財保護事業	<p>○文化財の活用事業</p> <p>①史跡を訪ねる集い（いするぎウォーク）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日 平成 26 年 5 月 3 日 ・参加人数 105 人 <p>②石動山まつり（歴史講演会）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日 平成 26 年 7 月 27 日 ・参加人数 64 人 <p>③雨の宮古墳まつり（勾玉づくり体験）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日 平成 26 年 10 月 18 日 ・参加人数 100 人 <p>④出前講座（3 件）</p> <p>「歴史と文化の町～中能登町の文化財について～」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・尾崎区 <ul style="list-style-type: none"> 1)開催日 平成 26 年 8 月 24 日（日） 2)会 場 尾崎公民館 ・金丸区 <ul style="list-style-type: none"> 1)開催日 平成 26 年 10 月 10 日（金） 2)会 場 金丸高齢者生きがいセンター ・小中学校社会科総合学習見学（17 件） 	<p>【成果】</p> <p>イベント、講座等を通して文化財に対する理解が深まったと考えている。</p> <p>【今後の方向性】</p> <p>積極的に事業を実施し、広く文化財に対する愛護精神の普及をはかる。</p>
(2) 文化財管理運営	<p>○史跡・文化施設の管理状況</p> <p>①石動山</p> <ul style="list-style-type: none"> ・史跡公園，県営能登歴史公園（石動山地区）の施設維持管理，樹木管理，除草作業等の実施 ・大宮坊の管理運営（利用者数 4,896 人） ・石動山資料館の管理運営（入館者数 1,248 人） <p>②雨の宮古墳群</p> <ul style="list-style-type: none"> ・古墳公園，グリーン広場の樹木管理及び除草作業 ・雨の宮能登王墓の館の管理運営（入館者数 2,185 人） <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>○指定文化財の説明板設置事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町指定名勝「不動滝」の説明板設置 	<p>【成果】</p> <p>文化財の保護を図りながら定期的に除草，樹木管理，公園施設の維持管理を行なった。また学校教育，社会教育の場として活用することができた。</p> <p>【今後の方向性】</p> <p>さらに史跡の普及・啓発に努めるとともに，展示施設の利用者増加を目指すため，特別展を実施するほか外部団体と協力していく。</p> <p>【成果】</p> <p>新たな文化財の魅力を掘り起し看板説明文に反映することで，普及啓発に努めることができた。</p> <p>【今後の方向性】</p> <p>1 基のみの設置にとどまったが，文化財保護を図る上では，看板の設置は急務と考えられる。</p>

5 学校給食

項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価
(学校給食)	<p>○中能登町学校給食センター運営委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校給食センター運営委員会開催 1)実施日 平成 27 年 2 月 12 日 (木) 午後 4 時 2)場 所 中能登町学校給食センター2 階会議室 3)委 員 教育長, 学校長, PTA 会長, 学校薬剤師 	<p>【成果】 給食費未納世帯に対し, 自宅訪問を行い収納率アップにつながった。</p> <p>【今後の方向性】 未納者に対し, 引き続き支払催促をし, 臨戸などを行い, 未納額を減らしていく。</p>

6 生涯学習の振興

項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価
(1) 生涯学習センター「ラピア鹿島」の充実	<p>○文化芸術活動を通じた交流、発表の場とする</p> <p>①町文化まつりの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施日 平成26年11月2日(日), 3日(祝) ・会場 ラピア鹿島, カルチャーセンター飛翔 ・作品展示 38団体, 535人 ・入場者 約3,000人 ・芸能発表 42団体, 433人出演, 入場者約500人 ラピア鹿島アイリスホール ・お茶席 入場者100人, ラピア鹿島和室 ・講演会 入場者130人 カルチャーセンター飛翔大ホール ・将棋大会 参加者40人 カルチャーセンター飛翔和室 <p>②文化推進事業の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・石動山文化事業 約1,000名 ・中部航空音楽隊コンサート 約450名 ・町民文化講演会(笠井信輔) 約400名 ・井上あずみファミリーコンサート 約250名 ・クリスマスコンサート 約200名 ・ふれあい中能登2015年コンサート 約400名 	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化まつり実行委員会が主となり, 作品展示・芸能発表が行われた。参加団体は準備から撤収に至るまで協力し合い運営されており, 多くの町民の方が鑑賞に訪れたため, 参加者の励みとなった。 ・文化推進事業は延べ2,700名が入場した。どの事業も町民に親しんでもらえた。特に「井上あずみファミリーコンサート」は, 子供を対象とした初の事業で喜んでもらえた。 <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化まつりは継続していく必要があると思うが, 文化協会参加団体参加者の高齢化が進んでいるため, 今後は若い世代の発掘が課題である。 ・文化推進事業はコンサートが多かったため, 講演など多種多様なジャンルの導入を考えていく必要がある。
	<p>○生涯学習の拠点として施設の充実を図る</p> <p>①放射線防護対策工事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・志賀原発に重大な事故が起きた際, 避難が困難な住民の一次避難施設としてミューズホールの改修工事を施工 <p>②駐車場区画線修繕工事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幅広の駐車スペース確保のため, 二重線の区画線工事を施工 <p>③多目的トイレ修繕工事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多目的(障がい者)トイレに洗浄機を取り付け 	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・放射線防護対策工事は, 緊急時に長距離移動が困難な住民に対して安全で安心して利用してもらえる。 ・駐車場区画線修繕工事は, 車輛の乗り降りの際に隣の車両との衝突の危険性が低下した。 ・多目的トイレ修繕工事は, 利用者の利便性の向上を図れた。 <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各施設の適切な維持管理を行うとともに, 施設利用のモラル喚起を行っていく。

項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価
(2) 生涯学習講座の実施	<p>○住民のニーズを把握し、学習機会の場を提供する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習講座の実施 1) 季節の魚を楽しくさばこう 延べ 27 人 2) 自家製の燻製を作ろう 延べ 21 人 3) 切り絵で蓬莱を作ろう 延べ 25 人 4) 古布で暮らしを飾ろう 延べ 148 人 5) 寄せ植え講座 延べ 50 人 6) 老けにくい身体とココロづくり 延べ 204 人 	<p>【成果】</p> <p>6 講座、延べ 22 回開催。延べ 475 人が参加。たくさんの町民に学びの場を提供した。</p> <p>【今後の方向性】</p> <p>今後はスポーツ関係や、こどもを対象とした講座、夜間開催も検討する。</p>
	<p>○ふるさと学習の充実を図る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出前講座の実施（44 種の出前講座を設定） 1) 「まだまだ若いもんにはまけんぞ」（すくすく） 2) 「消防・防災活動」（総務課） 3) 中能登町の観光（企画課） 4) あなたの大切な一票（総務課） 5) 介護予防の話（地域包括支援センター） 6) かしこく食べてカロリダウン（すくすく） 7) 下水道施設を探検しよう（上下水道課） 8) 介護の現状と予防（地域包括支援センター） 9) 夢いっぱいネバーランド（情報推進課） 10) めざせ！分別の達人（保健環境課） 11) 町の歴史を知ろう（教育文化課） 12) 交通安全教室（総務課）など 	<p>【成果】</p> <p>39 回、延べ 1,047 人が参加。保育園や町内会、女性会など各種団体に幅広く利用された。各地区の健康サロンの利用が半数以上を占める。</p> <p>【今後の方向性】</p> <p>利用頻度が多い講座と一度も利用されない講座があるため、講座項目の見直しを検討する。</p>

項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価
(3) 生涯学習のつどいの実施	<p>○各種団体の事例発表や講演を行い、町民への周知を行うと同時に、お互いが学びあえる学習機会の提供を図る。社会教育委員が主体となり、企画及び運営する。</p> <p>・「生涯学習のつどい」の開催</p> <p>1)日 時 平成 27 年 2 月 15 日 (日)</p> <p>2)場 所 ラピア鹿島「アイリスホール」</p> <p>3)テーマ ～「輝け！中能登」世界へ向けて～</p> <p>4)パネルディスカッション</p> <p>◆パネラー</p> <p>i)山辺 和久 (町 PTA 連合会会長)</p> <p>ii)鍛冶 リェン (ベトナム・ホーチミン出身)</p> <p>iii)大谷 藍子 (大学生)</p> <p>iv)杉森 玲奈 (中能登中学校 2 年生)</p> <p>v)小林 咲良 (中能登中学校 2 年生)</p> <p>◆コメンテーター</p> <p>高崎道代 (元県多文化共生推進員)</p> <p>◆コーディネーター</p> <p>大湯章吉 (町国際交流の会相談役)</p> <p>5)基調講演</p> <p>◆演 題 「私と台湾,そして石川」</p> <p>◆講 師 一青 妙 氏</p> <p>※今年度は開会前に二宮子ども獅子舞演舞を披露し、地域での活動を町民に紹介した。</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町民に対し、多文化共生事業の推進の必要性を強く実感させることができた。また、人とのつながりが広まり、お互いが学び合えた。 ・アンケートの結果、事業に対する良い意見が多く、町民に喜ばれる事業となった。 <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後も人とのつながりを深める事業を推進していく。 ・事業がマンネリ化しないように、基調講演等の企画・運営を図る。
(4) 公民館活動の充実	<p>○各自治公民館の活動を基盤とする</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自治公民館活動への助成 (60 地区) 	<p>【成果】</p> <p>自治公民館活動の活性化に貢献した。</p> <p>【今後の方向性】</p> <p>引き続き公民館活動の充実を図る。</p>

項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価
<p>(4) 公民館活動の充実</p>	<p>○活動を通じさらなる連帯感を養い、地域のリーダー育成を図る</p> <p>①花いっぱい運動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・春の花いっぱい運動 <ol style="list-style-type: none"> 1)実施日 平成26年5月25日(日) 2)植栽 サルビア 3,200鉢 マリーゴールド 3,200鉢 マツバボタン 2,900鉢 ベコニア 3,200鉢 ・秋の花いっぱい運動 <ol style="list-style-type: none"> 1)実施日 平成26年10月26日(日) 2)植栽 パンジー 2,930鉢 ビオラ 2,940鉢 チューリップ球根(赤・白・黄・桃) 各1,330球 <p>②各種団体への助成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中能登町文化協会 会員相互の学術技芸の習得意欲の向上と、地域社会の文化向上に寄与する。 <ol style="list-style-type: none"> 1)町補助金 2,750,000円 2)事業内容 <ul style="list-style-type: none"> ◆年2回の文化だより発刊 ◆文化まつりの開催 ◆町事業への参加協賛 ◆県庁ロビーコンサートへの参加 ◆研修旅行 ・中能登町子ども会連絡協議会 <ol style="list-style-type: none"> 1)町補助金 900,000円 2)事業内容 <ul style="list-style-type: none"> ◆全国子ども会安全会への加入 ◆各地区育成費の助成 ◆リーダー研修会 ◆町祭りサイクルバザーの出店 ◆秋・冬各種球技大会 	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・心豊かな生活環境づくりを推進する運動の一環として、町民手づくりによる「花いっぱい運動」が定着した。 ・それぞれの団体が、発表会やボランティア活動等に積極的に参加し、地域文化の向上が図られた。 ・町子ども会の堅実な活動と発展を図るとともに、子どもの健全育成に資することができた。 <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・花いっぱい運動は地域が自主的に季節を問わず行う運動となるように検討を進める。 ・各種団体のメンバーが固定化されており、文化だよりなどで入会案内を行っているが、なかなか新規会員の加入が見込めない。さらなるPRを行い、新規会員の獲得に努める。 ・スポーツ活動や、学校行事の多用により、子ども会行事への参加が減少気味となっている。小学校(地区PTA)と連携体制づくりに努める。

項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価
<p>(4) 公民館活動の充実</p>	<p>・中能登町実年会 町実年層の親睦と融和を図りつつ、その教養を高めより良い町づくりの推進に寄与する。</p> <p>1) 町補助金 400,000 円 2) 事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 町内美化活動の実施 ◆ 春・秋交通安全街頭指導 ◆ 「中能登町実年会だより」の発行 ◆ バス視察研修（金沢方面） ◆ 県政出前講座の開催 ◆ グランドゴルフ大会 ◆ 町長と語る会 ◆ ボウリング大会 <p>・中能登町青壮年協議会 町内青壮年相互の連絡を密にし、青壮年層の活性化を図り郷土の発展に資することを目的とする。</p> <p>1) 町補助金額 350,000 円 2) 事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 春・秋交通安全街頭指導 ◆ 春・秋花いっぱい運動参加 ◆ 町民地区対抗ソフトボール大会 ◆ バス視察研修（珠洲市） ◆ 婚活事業 	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各地区の実年会員が相互に親睦融和を図りつつ教養を高め、さらに健康の向上を図るとともに伝統文化の保存と継承に努めることにより、町及び地域の発展に資することができた。 ・若者の定住、独身者に出会いの場の創出を目的に継続的に取り組んできた婚活事業は、これまでに16回を実施した。町男女共同参画推進員の会、町食生活改善推進委員協議会、町結婚推進員の会等の協力を得て、今年度は「縁活 in NAKANOTO」と銘打ち、蕎麦打ち体験などの共同作業を通して地域社会及び参加者同士の交流を深めた。 <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町実年会は鳥屋地区から8団体、鹿西地区から1団体の計9団体で、鹿島地区からの加盟は無く、長年の懸案事項となっている。会員数も各地区において毎年微減の状態が継続しており、鹿島地区からの加盟も含め、会員の増又は維持に努める。 ・町内青壮年層の減少などの理由から、正確な各青壮年団加入団員数も把握できていないのが現状である。今後、各地区青壮年団代表者との連絡調整を強力に推進し、本協議会の活性化を図るとともに、郷土の発展、伝統に寄与するという団員の意志の醸成が急務である。

項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価
<p style="text-align: center;">(4) 公民館活動の充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・中能登町女性協議会 1) 町補助金 2,000,000 円 2) 助成講座講師謝金一部助成 6,000 円 (各支部 1 回/年のみ助成) 平成 26 年度支部数 24 地区 3) 主な事業内容 <ul style="list-style-type: none"> ◆ 会報 10 号発刊 ◆ 町長と語る会 ◆ 中能登地区県政会議 ◆ 議会傍聴 ◆ 交通安全マスコット配り ◆ 女性のつどい ◆ 敬老会お手伝い ◆ リサイクルバザー ◆ 交通安全パレード ◆ 女性セミナー 	<p>【成果】</p> <p>女性から見た地域づくりやサポートに資することができた。また、女性協議会との連携もスムーズに行うことができた。</p> <p>【今後の方向性】</p> <p>人口、世帯の減少に伴い、協議会に参加する会員の減少が目立ち、解散する地区支部が出てきている。町協議会に加盟せずに地区独自で活動している団体もあるため、加盟を働きかけ、全地区の支部設立に力を入れたい。</p>

項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価
(5) 青少年の健全育成	<p>○家庭や学校、地域との連携を密にし、犯罪のない地域社会を創る</p> <p>①青少年問題協議会の開催</p> <p>②巡回補導の実施</p> <p>・学校、PTA だけでなく、県警委嘱少年補導員、七尾鹿島地区高等学校 PTA 校外補導連絡協議会、青少年育成推進指導員などの協力のもと行った。</p>	<p>【成果】</p> <p>青少年（中学生及び高校生）の健全育成の推進に寄与した。</p> <p>【今後の方向性】</p> <p>青少年協議会は、開催回数を増やして内容の充実を図りたい。巡回補導は、夏季休業日、年末年始等の特定期だけでなく、年間をとおして行うことが望ましい。</p>
	<p>○青少年の地域での社会参加を促す</p> <p>①青少年育成推進委員の支援</p> <p>・内閣府、県主催の研修会への参加や町立学校の道徳授業への参加、協力を実施</p> <p>②成人式の実施</p> <p>・実施日 平成 27 年 1 月 11 日（日）午前 10 時</p> <p>・場 所 ラピア鹿島「アイリスホール」</p> <p>・参加者 対象者 184 人、参加者 151 人</p> <p>・式 典</p> <p>1)開式の辞 教育長 池島 憲雄</p> <p>2)国家斉唱 新成人代表 高田 真季</p> <p>3)町民憲章唱和 新成人代表 三野 浩太郎</p> <p>4)式辞 町長 杉本 栄蔵</p> <p>5)祝辞 知事 谷本 正憲</p> <p style="padding-left: 40px;">県議会議員 山田 省悟</p> <p style="padding-left: 40px;">町議会議員 亀野 富二夫</p> <p>6)記念品贈呈受領 新成人代表 北原 実奈</p> <p>7)二十歳の誓い 新成人代表 原 綾花</p> <p>8)明るい選挙推進決議 新成人代表 濱口 未夢</p> <p>9)謝辞 新成人代表 石田 岳大</p> <p>10)閉式の辞 教育長 池島 憲雄</p> <p>11)記念撮影</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・青少年育成推進委員が研修会参加、学校授業（道徳）への参加をとおして、青少年への地域社会参加呼びかけ方法を学習した。 ・成人式は親睦会で実行委員が中心となり、○×ゲームや1分間スピーチなどを行った。着付けボランティアや、次年度の成人対象者によるボランティアも実施され、成人者に社会構成員としての自覚を促すことができた。 <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・青少年育成推進委員の支援では、七鹿地区、石川県だけでなく地区の研修会へ参加し、多くの情報を得て、中能登町の青少年の育成に協力するよう働きかける。 ・成人式では実行委員の編成に当たり、例年参加者が少なく消極的である。懇親会の内容も一辺倒であり、年度ごとの変化がないことも、消極性を生み出している原因の一つと考える。次回からは実行委員の取組や親睦会の内容を変化させる必要がある。

項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価
(6) 国際交流事業の推進	<p>○国際化に対応した事業推進を台湾基隆市成功国民中学校との相互交流を通し展開する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町国際交流の会への助成 <p>中能登中学校から生徒 11 人を含む 17 人が台湾基隆市を訪問し、ホームステイプログラムなどを実施した。</p>	<p>【成果】</p> <p>台湾基隆市成功国民中学校との交流事業をとおして情報交換や文化、スポーツ、生活習慣などから国際感覚を養う良い経験となった。</p> <p>【今後の方向性】</p> <p>子供たちの国際感覚を養うため、今後も更に交流を深めていきたい。</p>
	<p>○次世代を担う児童生徒の国際的視野を身につけるための国際交流を推進する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ジャパンテントへの共催並びに実施 <p>1) ホストファミリー</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆山田 洋一ファミリー (井田) ◆山辺 和久ファミリー (能登部上) ◆永源 誠ファミリー (能登部下) ◆多田 滋ファミリー (小竹) <p>2) 中能登町交流プログラム</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆デザインセンターヴェガ (見学, 体験) ◆能登上布会館 (見学, 機織り体験) ◆道の駅 (昼食) ◆雨の宮古墳 (散策) ◆能登テキスタイルラボ (タペストリー製作) 	<p>【成果】</p> <p>ホストファミリーの子ども達に留学生との交流をとおして、異文化に触れ、お互いに学び合う良い機会を提供できた。</p> <p>【今後の方向性】</p> <p>国際交流の良さを周知し、未経験の家庭にもホストファミリーとなってもらえるよう努める。</p>

項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価
(7) 図書館の充実	<p>○生涯学習の拠点として、町民のニーズに配慮した必要な図書、資料を収集し、町民の読書意欲を喚起する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書購入予算内で、より多くの図書購入ができるよう3図書館で連携し、複本がないように購入 ・話題性の高い本は3館で購入するなど工夫している。利用者希望の本が町内図書館で蔵書していない場合は、県内図書館から借り受けすることができるようになっている。また、季節に応じた展示をすることにより、読書意欲を喚起している。 	<p>【成果】</p> <p>利用者の希望に応じ、県内図書館からの借り受けをすることで、利用者の貸出冊数の増加につながる。</p> <p>【今後の方向性】</p> <p>引き続き利用者のニーズを把握し、町民の読書意欲の増進に努めていく。</p>
	<p>○読書グループ、図書館ボランティアの資質向上を目指し育成支援を図る</p> <p>①図書館ボランティア養成講座（全4回）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1回目 平成26年5月29日（木） 「読み聞かせの大切さについて」 ・2回目 平成26年6月3日（火） 「エプロンシアター&パネルシアターの仕方」 ・3回目 平成26年6月14日（土） 「おはなし会&わらべうた」 ・4回目 平成26年6月16日（月） 「本の選び方、ストーリーテリング」 <p>②公開読書会（2回）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夏 平成26年8月21日（木） 「こころ残り～街の蛍～」阿刀田 高/著 ・秋 平成26年11月11日（火） 「柘榴坂の仇討」浅田 次郎/著 	<p>【成果】</p> <p>講座を受講することで、図書館ボランティアとして新たな発見があり、読み聞かせ時に活用できている。また、公開読書会を開くことで楽しく意見交換ができ、資質向上を図れた。</p> <p>【今後の方向性】</p> <p>引き続き、読書グループ等と連携を取りながら、より多くの方の参加を支援をする。</p>
	<p>○家族での読書の推進を目指し「うちどく（家読）」の推進を図る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・うちどく推進賞を実施 「うちどくノート」町内小学校全児童に配布し、うちどくノート提出順に学校で表彰を実施 シルバー賞、ゴールド賞は2月に学校で表彰 1) 「うちどく賞」(1冊目達成者) (1～4年生・5～6年生8冊分) 2) 「シルバー賞」(2冊目達成者)(10冊分) 3) 「ゴールド賞」(3冊目以上達成者) 	<p>【成果】</p> <p>平成26年度受賞者数 うちどく賞 417人 シルバー賞 130人 ゴールド賞 111人</p> <p>前年度と比べると、うちどくノート提出者が大幅に増え、1人当たりの読書量も増加した。</p> <p>【今後の方向性】</p> <p>今後も学校と連携をとり、読書の習慣化を図りたい。また、本を読むこと以外にも、図書館や図書室に足を運ぶよう、いろいろな行事を推進していく。</p>

項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価
(7) 図書館の充実	<p>○学校図書館司書と連携、協力し学校図書館の活性化を図る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校図書館担当者との連絡打合せ会の実施 1)実施日 平成26年5月21日(水) 2)参加者 学校図書担当教諭, 学校図書館司書, 町立図書館職員 3)内 容 町図書館の小中学生対象事業について各校の読書指導計画について 	<p>【成果】</p> <p>学校図書館にない図書, 授業で使用する図書を町図書館から借りることで補うことができた。</p> <p>【今後の方向性】</p> <p>今後も学校図書館司書, 学校図書担当教諭との連携を強化し, 児童生徒の学校図書館, 町立図書館の利用推進を図る。</p>
	<p>○乳幼児から絵本に慣れ親しんでもらうため、町内に生まれたすべての赤ちゃんを対象に絵本を手渡し、職員が読み聞かせ等を行うブックスタート事業を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ブックスタート事業 1)対象児 7ヶ月の乳児(約150人) 2)実施日 保健センターでの7ヶ月児健診時 3)内 容 2冊の絵本を贈呈 	<p>【成果】</p> <p>ブックスタート後に図書館を訪れ, 絵本を借りていく親子が見受けられた。親子での絵本の読み聞かせ普及と図書館利用の推進につながっている。</p> <p>【今後の方向性】</p> <p>今後も引き続き継続し, 本の楽しさを知ってもらい, 図書館利用の推進を行う。</p>
	<p>○3館ある図書館の充実を図る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・予算の関係上, 複本がないよう図書を購入しているが, どの図書館でもその図書を借りることができるよう予約を受け付けている。また, 町内の図書館で借りたものは, 借りた図書館でなくても返却できるようにしている。 	<p>【成果】</p> <p>図書の予約受付をすることで, 利用者が足を運びやすい図書館で貸出しをすることができ, 利用者の負担軽減となっている。また, 図書の貸出しだけではなく, 各図書館でのおはなし会やいろいろな行事を行うことで多くの利用者(子どもからお年寄りまで)が利用しやすい場を提供できた。</p> <p>【今後の方向性】</p> <p>利用者からの意見も取り入れながら図書館のあり方や事業について検討していく。</p>
	<p>○学校読み聞かせボランティアの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各学校からの依頼により, 各小中学校での朝昼読書タイムに読み聞かせボランティア(約20人)が月1回読み聞かせを行った。 	<p>【成果】</p> <p>読み聞かせを行うことで, 児童生徒の読書への関心が高められた。</p> <p>【今後の方向性】</p> <p>読み聞かせは, 心のケアにもつながる利点があるため, ボランティア人数が減少傾向ではあるが, 今後も読み聞かせボランティアの募集を図り, 事業を継続する。</p>

7 生涯スポーツの振興

項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価
<p>(1) ジュニアスポーツクラブの充実</p>	<p>○スポーツ少年団, ジュニアスポーツクラブの活動を支援し, 子どもたちの心身を育てる</p> <p>・ジュニアスポーツ教室の開催</p> <p>26 教室を実施し, 各教室年間 100 日から 300 日を超える日数の活動を行った。各教室には育成費や大会派遣費を補助し, その活動を支援している。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 鹿西剣道教室 2) 鹿島少年剣道教室 3) 中能登柔道教室 4) 中能登町少林寺拳法クラブ 5) とりやアスリート倶楽部 6) 中能登ジュニア体操クラブ 7) 鹿西サッカースポーツ少年団 8) かしま F C 9) 中能登ジュニアトランポリンクラブ 10) 中能登フェニクス (ミニバスケ男子) 11) 中能登町ミニバスケットボールクラブ女子 12) 鹿西学童野球クラブ 13) 鳥屋学童野球クラブ 14) 鹿島学童野球クラブ 15) 鹿西卓球スポーツ少年団 16) 鳥屋クラブ (卓球) 17) 卓球教室 かしまクラブ 18) とりやソフトテニスクラブ 19) 鳥屋バドミントクラブ 20) バドミントクラブ かしま 21) バレーボール女子 22) 極真 中能登カラテ 23) 中能登ドリームズ (ミニバレー女子) 24) なかのとジュニアソフトボールクラブ 25) ジュニア空手道教室 26) 武道教室 山口道場 	<p>【成果】</p> <p>旧町からの伝統競技も引き続き熱心に活動し, また近年人気のサッカー, 陸上などにも人気が集まっている。熱の入った指導のもと, 中には全国大会に出場している教室も多くみられる。</p> <p>【今後の方向性】</p> <p>総児童数に対する加入率は 47.5%とまだ低い状況で, 夢プロジェクトとも連携のもと, 加入率の向上を目指す必要がある。</p>

項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価
<p>(1) ジュニアスポーツクラブの充実</p>	<p>○ジュニアスポーツクラブ指導者育成派遣を行い、指導者の資質向上を図る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JBA 公認コーチ養成講習会 D 級にミニバス男子指導者 2 名を派遣 	<p>【成果】</p> <p>指導者の資格を取ることで、指導力の向上及び協議会への出場が可能となった。</p> <p>【今後の方向性】</p> <p>一人でも多くの指導者養成のため、講習会等への受講を幅広く呼び掛けていく。</p>
<p>(2) 地域スポーツの振興</p>	<p>○体育協会やスポーツ推進委員との連携を図り、地域スポーツの推進を図る</p> <p>①体育協会は 23 競技団体を指導及び各種の補助をし、ジュニアから一般世代までの競技力向上を目指している。特に町民大会の開催については、大会開催費を補助し、大会運営に大きく寄与している。また、県民体育大会では各競技団体及び出場種目選手に手厚い補助をし、競技力向上及び町の知名度アップに尽力している。</p> <p>②スポーツ推進委員会は 15 名で組織され、各小学校の PTCA 活動やスポーツ活動、町スポレク祭（ウォークラリー）の企画運営、北陸地区、県、中能登地区の研修会に参加し、その技量のアップに尽力し、町及び地域のスポーツの推進に尽力している。</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各競技の指導強化により、ジュニアにおいては 42 人を全国大会に選手派遣し、一般競技においても延べ 31 人の全国大会出場選手を輩出している。高校総体、国体出場選手には懸垂幕を掲揚し、選手の健闘を讃えた。 ・PTCA 活動では、ドッジビーやフライングディスク、キンボール等のニュースポーツの普及に尽力した。 ・ウォークラリーは頭と体を使い、健やかなやかな気分でウォーキングを堪能することができた。 <p>【今後の方向性】</p> <p>体育協会においては、一層の競技力向上を目指し、チャンピオンスポーツとして更なる好成績を目指すべく、選手育成に尽力する。また、体育施設の適切な維持管理整備を行う。</p>

項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価
(2) 地域スポーツの振興	○スポーツレクリエーション祭の充実を図る ・スポーツ推進委員が企画運営するウォークラリーをメインに町民駅伝，町民剣道，町民ソフトボール，町民グラウンドゴルフ，町民ソフトテニスなどの各種大会，ふれあいテニスを実施 その他体力測定や健康コーナーも実施	【成果】 10月のさわやかな気候のもと，ウォーキングをとおして，心身のリフレッシュを図ることができた。 【今後の方向性】 ウォークラリーの参加者が年々減少しており，募集の仕方に工夫が必要。
	○県民体育大会への参加競技の拡大を図る ・なぎなた，オリエンテーリング，セーリング，フィールド射撃など近年参加競技が増えたが，かつて参加していたウエイトリフティング，ラグビーなどの再度出場に向け選手発掘を実施	【成果】 参加競技増加によりスポーツ奨励賞を受賞している。 【今後の方向性】 更なる参加競技拡大のため，かつて出場できた競技の選手発掘に努め，各競技団体に呼び掛ける。
(3) スポーツ施設の整備・充実	○スポーツ施設の統合 ①平成24年度 テニスコート解体（二宮あおば台） ②平成25年度 鹿島水泳プール解体 鳥屋体育館解体 鳥屋武道館弓道場解体 碁石が峰マレットゴルフ場解体 ③平成26年度 鳥屋相撲場解体	【成果】 老朽施設の解体を実施し，管理費，修繕費の圧縮が図れた。 【今後の方向性】 ・スポーツ施設建築から約35年から40年経過し，修繕に係る費用が増大している。安全に利用できるように計画的な修繕が必要である。 ・将来を見据えた公共施設活用指針の策定を行い，施設利用の位置づけ，多機能複合化でサービスの向上を目指し，施設の適正な維持管理を行う。 ・施設の利用者に維持管理費の一部負担を義務付ける料金改定を実施し，適正な施設運営管理を行う。

項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価
(3) スポーツ施設の整備・充実	<p>○施設の耐震化及び大規模改修</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鹿島体育センター大規模改修工事 1) 建築躯体の耐震化の向上 2) アリーナの音響改善 3) 照明器具のLED化 4) 衛生設備の改善 5) 多機能設備の充実（多目的トイレなど） 6) トレーニング器具の充実 7) 防災設備の充実（自家発電） 	<p>【成果】</p> <p>老朽化したスポーツ施設設備の充実に図ることができた。</p> <p>【今後の方向性】</p> <p>公共施設の更新は、優先順位をつけたうえで実施していく。利用者が安全かつ安心して利用できるように保守管理と速やかな修繕が課題である。事業の縮小は、設備の充実に相反し利用者の減少にも繋がるため、町民がスポーツやレクリエーションに親しめる環境づくりを推進し、スポーツ施設の効率的な管理運営と整備を図る。</p>
(4) 指導者の養成と選手の育成	<p>○体育協会と連携し、指導者の指導力向上及び選手の育成に努める</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導者の技術向上、選手の育成 <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>○全国大会等に出場する選手の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ①ジュニア全国大会（17大会 延42人出場） ②全国高校総体（14人出場） ③国民体育大会（7人出場） ④その他高校生の全国大会（3大会 12人出場） ⑤一般全国大会（11大会 延28人出場） ⑥東アジア大会出場（1人出場） 	<p>【成果】</p> <p>ソフトテニス、バスケットボール、ソフトボールなどの指導者育成を担った。</p> <p>【今後の方向性】</p> <p>全競技において若い世代の指導者の養成が必要である。</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・数多くの選手の、全国大会出場を輩出できた。 ・他市町に比べ優遇された補助金制度により、選手の負担を軽減できた。 <p>【今後の方向性】</p> <p>全国大会等出場には交通費、宿泊費、栄養費など多額の費用が必要なため、町からの補助金は引き続き継続する。</p>

II 教育委員の主な活動

時期	各種会議・関係行事等	開催場所及び参加者数等
平成 26 年 4 月	異動教職員辞令伝達式 中能登中学校開校式, 小中学校入学式 鹿西高等学校入学式 石川県市町教育長会議 石川県市町教育員会連合会理事会	ラピア鹿島【5名】 小学校5校, 中学校1校【5名】 鹿西高等学校【教育長】 金沢市庁舎【教育長】 金沢市庁舎【委員長】
5 月	石川県教育委員会連合会定期総会 中能登中学校学校訪問 町立小学校運動会 町 PTA 連合会定期総会 夢プロ実行委員会 七鹿中学校陸上競技大会 全国町村教育長会総会・研究大会	金沢市教育プラザ富樫【5名】 中能登中学校【5名】 小学校5校【5名】 ラピア鹿島【教育長】 ラピア鹿島【5名】 城山陸上競技場【5名】 東京都【教育長】
6 月	町教育長会議 小学校学校訪問	津幡町【教育長】 小学校小学校【5名】
7 月	学校経営研修会 県中学校体育大会応援 小学校水泳交歓会	中能登中学校【5名】 県内各会場【5名】 鳥屋学園プール【委員長】
8 月	県市町教育委員会セミナー 町戦没者慰霊式 石川県民体育大会応援 鹿島地区統合小学校の学校説明会 東海北陸地区町村教育長研究協議会 閉校記念御祖小納涼祭 町 PTA 連合会と教育委員会との懇談会 三重県紀宝町ソフトテニス交流	日航ホテル【5名】 ラピア鹿島【5名】 各会場【5名】 越路、滝尾、御祖小学校【教育長】 魚津市【教育長】 御祖小学校【教育長】 ラピア鹿島【5名】 鹿島少年自然の家【教育長】
9 月	石川県市町教育委員会連合会理事会 町小学校機械運動交歓会	KKR ホテル金沢【委員長】 鳥屋小学校【教育長】
10 月	東海北陸地区町村教育長研究協議会 町 PTA 連合会研究大会 いしかわ道德教育推進事業発表会 石川県市町教育委員会連合会研究大会 中能登中学校学校祭 いしかわ学びの指針 12 か条研究発表会	福井市【委員長】 ラピア鹿島【教育長】 滝尾小学校【5名】 輪島市文化ホール【5名】 中能登中学校【5名】 鹿西小学校【5名】
11 月	豊かな心を育むタウンミーティング in 羽咋 石川県市町教育長会教育長研修会 教育委員視察研修	コスモアイル羽咋【5名】 KKR ホテル金沢【委員長】 富山付属小他【5名】

時期	各種会議・関係行事等	開催場所及び参加者数等
平成 27 年 1 月	中能登町成人式 石川縣市町教育長会議 中能登中学校立志式	ラピア鹿島【5名】 KKR ホテル金沢【教育長】 ラピア鹿島【5名】
2 月	石川縣市町教育委員会連合会役員会 学校訪問 生涯学習のつどい	教育プラザ富樫【委員長】 小学校 5 校、中学校 1 校【5名】 ラピア鹿島【5名】
3 月	町立中能登中学校卒業証書授与式 町立小学校卒業証書授与式 久江，越路，滝尾，御祖小学校閉校記念式典 鹿島小学校竣工式	中能登中学校【5名】 小学校 5 校【5名】 小学校 4 校【5名】 鹿島小校 5 校【5名】
通年	中能登町議会定例会，臨時会及び各常任委員会 その他関係方面からの会議，行事出席依頼による参加	中能登町議会議場及び会議室 【教育長】

Ⅲ 平成26年度決算（教育委員会）の概要

1 目的別内訳

（単位：千円）

区 分	平成26年度		平成25年度		増 減 額 A-B	増 減 率 $\frac{A-B}{B}$
	決算額 A	構成比	決算額 B	構成比		
教 育 総 務 費	146,789	4.82	109,062	6.50	37,727	0.35
小 学 校 費	2,075,507	68.10	613,488	36.54	1,462,019	2.38
中 学 校 費	77,661	2.55	537,324	32.00	▲ 459,663	▲ 0.86
社 会 教 育 費	231,915	7.61	245,215	14.60	▲ 13,300	▲ 0.05
保 健 体 育 費	515,973	16.93	173,948	10.36	342,025	1.97
うち体育施設費等	432,953	14.21	102,833	6.12	330,120	3.21
うち学校給食費	83,020	2.72	71,115	4.24	11,905	0.17
計	3,047,845	100.00	1,679,037	100.00	1,368,808	0.82

2 性質別内訳

（単位：千円）

区 分	平成26年度		平成25年度		増 減 額 A-B	増 減 率 $\frac{A-B}{B}$
	予算額 A	構成比	予算額 B	構成比		
人 件 費	223,547	7.33	218,070	12.99	5,477	0.03
物 件 費	494,417	16.22	384,397	22.89	110,020	0.29
維 持 補 修 費	14,316	0.47	22,554	1.34	▲ 8,238	▲ 0.37
扶 助 費	6,661	0.22	6,466	0.39	195	0.03
補 助 費 等	70,453	2.31	80,553	4.80	▲ 10,100	▲ 0.13
普 通 建 設 事 業 費	2,238,395	73.44	966,963	57.59	1,271,432	1.31
うち補助事業費	960,727	31.52	255,179	15.20	705,548	2.76
うち単独事業費	1,277,668	41.92	711,784	42.39	565,884	0.80
積 立 金	56	0.00	34	0.00	22	0.65
計	3,047,845	100.00	1,679,037	100.00	1,368,808	0.82